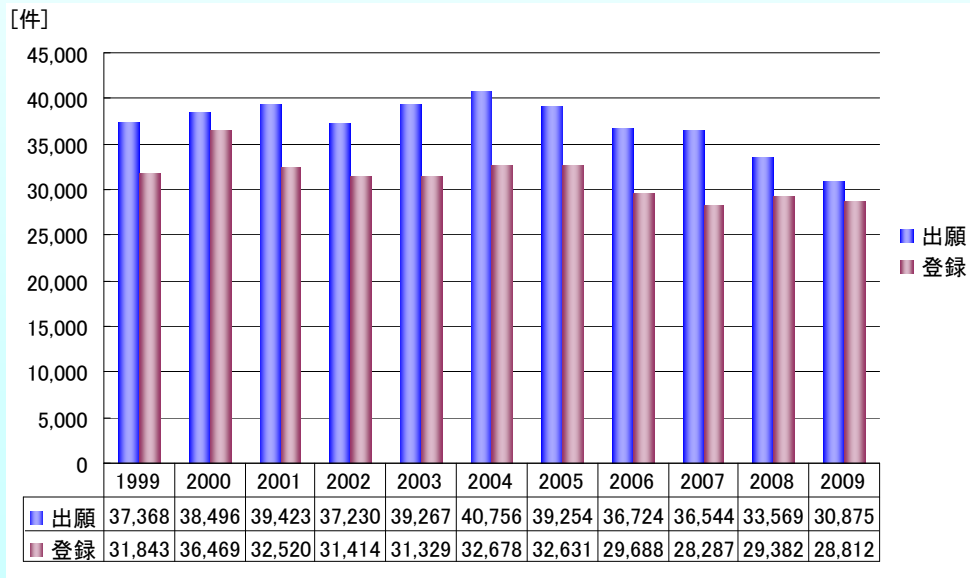


検討の背景について

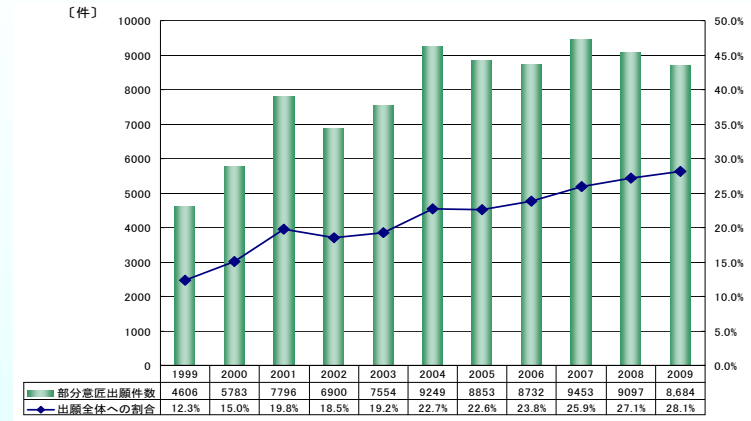
2010年12月
特許庁意匠課

1. 検討の背景(1)意匠制度の利用状況

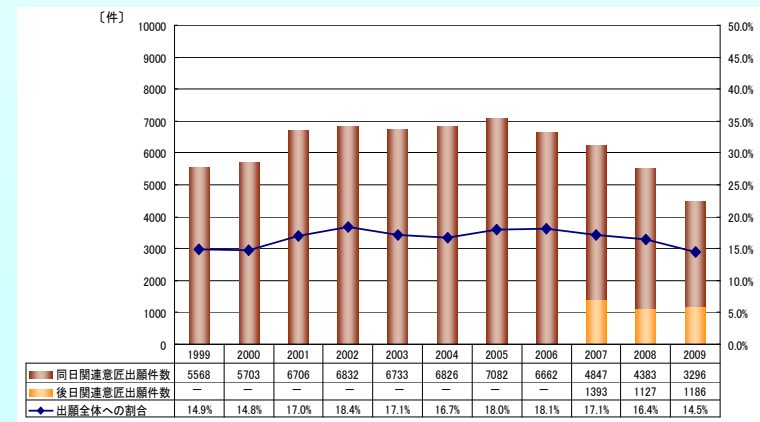
- ・意匠出願全体は減少傾向(2008→2009年 8.0%減)
- ・出願に占める部分意匠の割合は増加傾向
- ・関連意匠出願の減少幅が大きい(2008→2009年 16.9%減)



【図表1】 近年の意匠登録出願・登録の状況



【図表2】 近年の部分意匠出願の状況

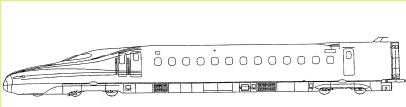


【図表3】 近年の関連意匠出願の状況

1. 検討の背景(2)意匠法の保護対象

意匠出願の多い分野として、H(携帯電話・テレビ等の電気電子・通信機器)、F(ペットボトル・消しゴム等の包装容器・文具)、D(イス・テーブル等の住宅設備用品)が挙げられる

車両・航空機等の
運搬機械



意匠登録第1249770号
旅客車

6%


ロボット・医療器具等の一般機械器具



意匠登録第1220823号
ロボット

8%

意匠登録第1352447号
即席麺

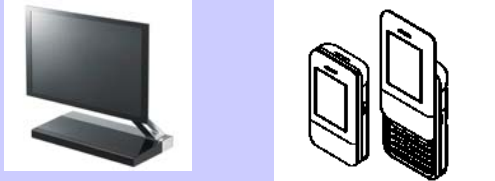


製造食品等

0%

おもちゃ・楽器等の
趣味・娯楽用品
織物地・ねじ等の
基礎製品

携帯電話・テレビ等の電気電子・通信機器



意匠登録第1330315号
テレビジョン受像機

意匠登録第1358169号
デジタルオーディオプレーヤー付
無線電話機

18%

ペットボトル・消しゴム等の
包装容器・文具



意匠登録第1329280号
【部分意匠】
ボトル

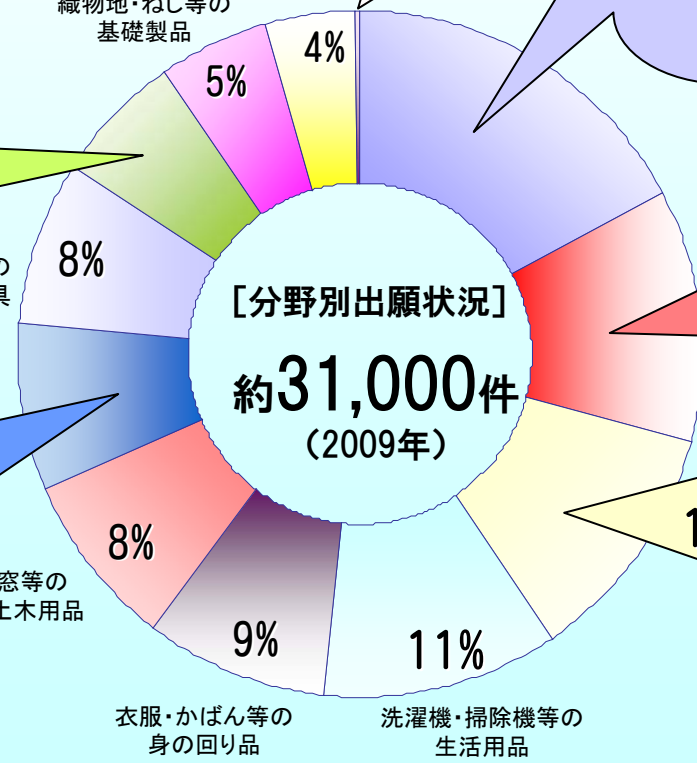
12%

イス・テーブル等の住宅設備用品



意匠登録第1298031号
椅子

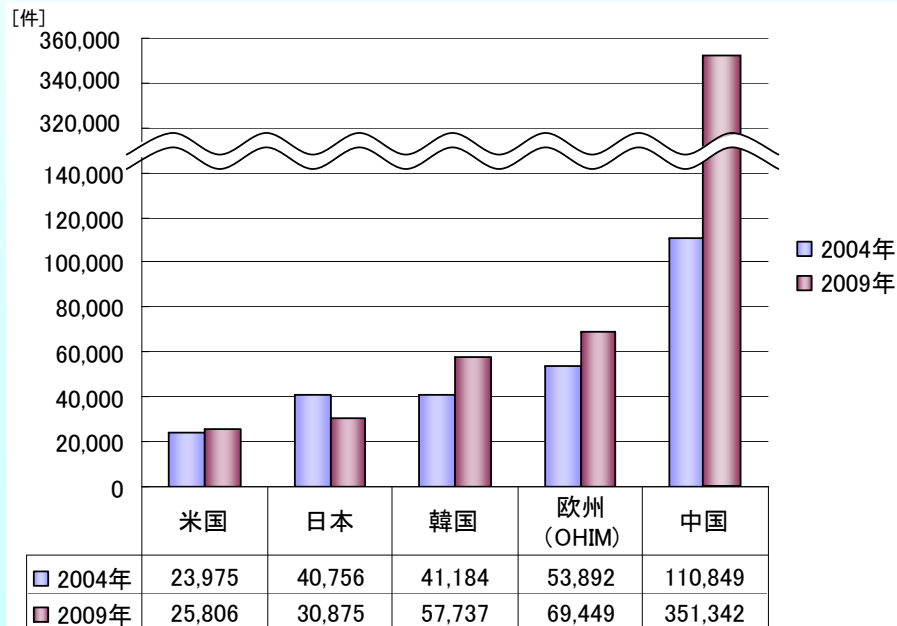
11%



【図表4】 2009年意匠分類グループ別出願状況

1. 検討の背景(3) 諸外国との比較・ユーザーからの評価

米国(2004年→2009年 7.6%増)、韓国(同40.2%増)、欧州(同28.9%増)及び中国(同217.0%増)と諸外国がここ数年で出願数を増加させているところ、我が国の意匠出願は減少(同24.2%減)している。



【図表5】 米、日、韓、欧、中の2004年及び2009年の意匠登録出願数

ユーザーからの評価

我が国意匠制度の評価されている点

- ・見てわかる権利
- ・実体審査に基づく安定的権利
- ・審査期間が比較的短期

何らかの対応が必要と指摘されている点

- ・デザイン開発実態と保護可能なデザインとの乖離
- ・権利範囲が狭い、不明確である
- ・手続上の負担

※財団法人知的財産研究所「多様化するデザイン創作活動を促進する意匠制度の在り方に関する調査研究報告書」(平成22年3月)

ユーザーからの評価を踏まえ、我が国意匠制度の評価されている点を強化し、何らかの対応が必要と指摘されている点を含めて検討する必要がある。

2. 意匠制度の課題

- デジタル化社会への対応
 - ・画面デザインの保護の拡充
 - ・保護対象についての検討

- 国際的な意匠制度の調和
 - ・国際的な出願手続の検討
 - ・国際的な制度調和への協力
 - ・途上国の制度構築への支援

- ユーザーの使いやすさ、わかりやすさ
 - (特許制度と共通する問題の一部は今年度の改正で措置)
 - ・出願手続、登録後手続の見直し
 - ・図面表現等の在り方の検討
 - ・その他、ユーザーの利便性を高めるための方策の検討